

第1レポート

3Q Net! あそ

～「あそじむNET」これまでの歩みと今後の展望～

発表者 阿蘇市立波野中学校 佐藤 賢一

1 あそじむNET

阿蘇郡市教育研究会学校事務部会では、「あそじむNET」というホームページを運営しています。あそじむNETは1999年（平成11年）6月に開設され、今年で14年目を迎えます。ホームページ開設時の最大の目的は1997年（平成9年）の県大会で阿蘇郡が発表した「いざというときに慌てないための事務処理要領」の最新改訂版をホームページで公開することでした。また、2000年（平成12年）からは当時まだ珍しい情報伝達手段だった「メーリングリスト」を導入しました。このメーリングリスト上で行われた情報交換をまとめたものをホームページに掲載しています。

14年という歳月は我々事務職員を取り巻く環境を大きく変化させました。パソコンの使用は今や当たり前となり、2008年（平成20年）からは熊本県でも「学校事務の共同実施」が本格導入されました。この中で地区研が持つホームページの役割も変わってきている気がします。

日本漢字能力検定協会が行った2011年「今年の漢字」では、「絆」という漢字が選ばれました。未曾有の被害をもたらした東日本大震災をはじめ、大規模な災害の経験から家族や仲間など身近でかけがえのない人との絆をあらためて知る、という理由からです。また、7月の九州北部豪雨により阿蘇も甚大な被害を受けました。学校も例外ではなく、膝まで水に浸かった学校もあります。こういった状況の中、連日熊本県内はもとより遠方からも多くのボランティアの方が復旧作業に来てくださいました。PTAに呼びかけて古タオルの寄贈をされた学校もあります。災害の経験から地域の絆が深まっただけでなく、新たな絆も生まれています。

私たちあそじむNETの取り組みは、本分科会のテーマである「事務改善」という面が大きいです。事務職員同士の「絆」「繋がり」といった面でもアプローチしていけたらと思います。

2 近年の取り組み

(1) リニューアル（1回目）

2008年（平成20年）、ホームページの運営は少人数から成るホームページ班が行っていました。しかし、実際は更新作業等ホームページ作成の技術に長けた方一人に任せており、あまりにも負担が大きく更新作業に時間がかかるという課題がありました。また、ホームページのコンテンツの中で必要性が薄れてきていると思われるコーナーもいくつかありました。そこで、ホームページ班のメンバーを一新し、ホームページの内容も検討、完

全リニューアルすることにしました。

新しいメンバーは、ホームページ作成に初めて携わる者ばかりでしたので、まずは教育センターの「学校ホームページ入門研修」に参加し、ホームページビルダーを使用したホームページ作成の基礎を学ぶことから始めました。ご存じの方も多いかと思いますが、ホームページはHTML (Hyper Text Markup Language) 言語を使って書かれています。このHTML 言語は「<」記号と「>」記号を用いて構成されるタグという仕組みを使って記述する言語です。今まではこのタグを直接書き込むこと（いわゆる「タグ打ち」）でホームページを管理していました。しかし、初心者にとってこれを理解するにはそれなりの時間を要しますし、また、我々には異動があり、ホームページ班のメンバーは数年ごとに入れ替わることを考慮すると、この方法でのホームページ管理には無理があると思われました。そこで、それほど専門知識がなくともホームページの作成や更新ができるホームページビルダーを用いることで、今後のあそびむNETの存続及びタイムリーな更新を実現しようと考えました。

次にホームページの内容について、会員にあまり利用されておらず削除してもいいのではないかと思われる項目や、新しく加えたい項目について検討を行いました。そして、新しいあそびむNETのコンセプトを「見やすく わかりやすく 活気あるホームページ」とし、ホームページビルダーを用いて各ページを作成、2009年（平成21年）2月にリニューアルしました。

このリニューアルは前述したコンセプト「見やすく」＝「デザインの刷新」、「わかりやすく」＝「コンテンツの精選・充実」の2つが大きな柱ですが、もう1つ期待というか願いを込めたものがあります。それは冒頭でも述べました「繋がり」です。阿蘇郡市教育研究会学校事務部会会則第三条に「本会は、会員相互の親睦をはかり、緊密な連携のもと～（以下略）」とあります。この会則を受け、「会員相互の親睦をはかる」機会として年2回程度役員主催の親睦会を行い、「緊密な連携」の手段としてメーリングリストを導入しています。しかし、近年は親睦会の参加もメーリングリストの投稿も減ってきているのが現状です。会員同士の繋がりが薄れてきているといっても過言ではないと思います。これには様々な理由が考えられますが、第一に「お互いのことをよく知らないから」だと考えられます。よく知らない人と飲んでも息苦しい、よく知らない人に聞くのも気が引ける、そういった感じではないでしょうか。ですから、ホームページ班としてまずはお互いを「知る」機会を提供しようということで、ブログを利用した「フォトレポート」（会員専用）を導入しました。学校のことはもちろん自分の最近の出来事や趣味など、写真とともに自由に投稿してもらおうようにしています。

（2）アンケート（1回目）

ホームページリニューアルから2年後の2011年（平成23年）、リニューアル後のホームページを会員がどのように考えているのか、ニーズに合ったものであるかを検討するためアンケートを実施しました。（別紙1）

【成果】

問4「ホームページを見たことがありますか？」について、「ない」と答えた会員はわずか2名でした。ほぼ全ての会員がホームページを見ていることになります。前回の発表

(2003年)におけるアンケートでは、同じ設問に対してホームページを見ている会員は70%強という結果でしたので、この10年間であそびむネットは会員に広く浸透したことがうかがえます。これは10数年前は「職員室に1台」であったパソコンが、今は「教職員1人に1台」と環境が変わったこともその要因であると思われます。

問6「リニューアル前と比べてホームページを見る機会は？」の設問に対して、約45%の会員が「増えた」と回答しています。また、問7「問6でその答えを選んだ理由を教えてください。」の設問に対して、「増えた」と答えた19名のうち16名が「フォトレポートを見る」と回答しています。1回目のリニューアルは、会員の半数近くの見る機会を増やすことができ、新しく導入したフォトレポートに関しては、大変好評であることが確認できました。フォトレポート導入2年で50件の投稿があり、それに対して28件のコメント(返事)が寄せられました。ただ、一応輪番制という形を取っている、投稿の中にはホームページ班として投稿したものもいくつかある、コメントする人間が限られている等課題もあります。今後当初の目的のとおり会員が親しみを持って利用するようなものにしていけるよう手立てを講じていきたいと思っています。

問9「ホームページでよく見るページを教えてください。」の設問に対して、会員の約62%が「いざとき」と回答しています。また、問10「どんな時にホームページを見ますか？」の設問に対して、会員の約40%が「職員の手当事例発生時」と回答しています。このことから、冒頭でも述べました「いざというときに慌てないための事務処理要領」は、正に「いざ」というときに会員に必要とされていることが分かります。また、管外の事務職員はもちろん教頭先生、教育センターの指導主事の方からも「いざとき見えますよ」とありがたいお言葉をいただいたことがありました。諸先輩方が作られたこのいざときは阿蘇の財産であり、今後も守っていかなければならないものなのだと改めて実感しました。

問16「MLに登録していますか？」の設問に対して、会員の約73%が「している」と回答し、問17「MLに投稿したことがありますか？」の設問に対して、登録していると答えた会員の半数以上が「ある」と回答しています。会員にとってメーリングリストはコミュニケーションツールの1つとなっています。

【課題】

問11「ホームページで必要ないと思うページはありますか？」の設問に対して、4名が「共同実施Q&A」が必要ないと回答しています。このページは1回目のリニューアル時に新設したページです。共同実施導入に伴い、分からないことは各共同実施単位で学校人事課等に確認し、各共同実施内で解決することが多くなる＝以前のようにメーリングリストを活用しなくなるのではないかとホームページ班は危惧していました。そこで「阿蘇郡市内事務職員の情報交換の場を確保する」ことを目的として共同実施専用のページを作成し、各共同実施主任を中心に各共同実施において行われた質疑応答の情報を提供していただきたいとお願いしました。しかし、なかなか情報提供もなく会員にあまり利用されていないページとなっていました。これは既存のメーリングリストと共同実施Q&Aの区別が分かりづらいことが一番の原因であり、また、このページの周知方法にも問題があったと思われます。

問12「トップページのデザインについて」の設問に対して、7名が「見づらい」と回答しています。次いで問13「どんなところが見づらいですか？」の設問に対して5名が

「色」、3名が「メニューバー」と回答しています。また、問 20「ホームページについてご意見・ご感想・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。」の設問に対して、「トップのメニューバーをポイントした時の青の細文字が見づらい」という意見もいただきました。1回目のリニューアル時に「以前の背景は白、写真やイラストは皆無であるのは若干寂しいのではないか」ということで、背景を阿蘇の草原をイメージした緑にし、トップページに阿蘇の写真に掲載し、メニューはマウスのポインターを合わせると表示されるように工夫を凝らしたつもりだったのですが、これを「見づらい」と感じている方がいることが分かり、改善の余地があるという結論に達しました。

(3) リニューアル (2回目)

アンケートから見えてきた成果と課題に対しホームページ班で協議を重ね、2012年(平成24年)2回目のリニューアルを行いました。

○全体的なデザイン

「シンプル・イズ・ベスト!」ということで白の背景に黒の文字色を基本としました。

○トップページ

あそびむNETの題字と写真は flash 機能を導入し、動きのあるものに変更しました。今までページの下部にあったサイト内検索機能をページ上部へ移動し、新たに文字の大きさを変更するボタンを配置しました。

また、これは管理する側の都合でもあるのですが、1回目のリニューアル時に廃止したフレームを再度導入しました。フレームとは1つのページに2つ以上のページを同時に表示させるものです。教育センターの学校ホームページ入門受講時に「フレームを用いると音声読み上げソフトで読み上げられないことが多いため、最近はフレームを使わないホームページが多くなっている」と説明がありました。そのため、あそびむNETでもそれまで用いていたフレームを用いずに1回目のリニューアルを行ったのですが、例えばメニューバーを更新する際等、全てのページを更新しなければならなくなる場合があり、非常に時間がかかっていました。ユーザビリティの観点から言うと時代に逆行しているのかもしれませんが、フレームは確かに見やすく、管理しやすいため今回再導入に至りました。

○阿蘇の学校&市町村の紹介

それまで学校のホームページへのリンクが1校しかなかったので、ホームページを持っている学校の許可を受け、新たに20校のリンクを設置しました。

○いざというときに慌てないための事務処理要領

それぞれの項目について、大きなボタンを設置し分かりやすくしました。

○OML事例集

かなり以前に投稿された内容で、事務処理の内容が変更されて今では関係の無くなった投稿が多々ありましたので、全てについて見直しを行いました。また、投稿された日付を分かる範囲で掲載しました。

○便利ツール

「共同実施Q&A」を廃止し、代わりに「便利ツール」を会員専用ページに新設しました。これは県内の事務職員が個人で作成されたものや人事課からいただいたソフトウェアを掲載している「ソフトライブラリ」に準ずるページです。きっと会員の中には、自分で

作成したソフトウェアを使っているけれども「ソフトライブラリに掲載する程のものでは…」と謙遜されている方も多いのではないかと思います。そこで、「こんなものを作りました！」と気軽に掲載できるページを作成してみました。このページに掲載されたソフトウェアのことで、メーリングリストの活性化に繋がることも期待しています。

(4) アンケート (2回目)

2回目のリニューアルから1ヶ月後、再度アンケートを実施しました。2回のアンケートを比較しやすくするため1回目のアンケートと同じ内容にしたこともあり、基本的には1回目のアンケート結果とほぼ同様の結果となりました。(別紙2)

【成果】

問6「リニューアル前と比べてホームページを見る機会は？」の設問に対して、2回目のリニューアルは1回目のリニューアルに比べて大幅な変更はなかったため、「増えた」と答える会員は少ないだろうと予想していましたが、会員の約20%が「増えた」と回答しています。その理由は「見やすくなったから」が最も多い回答でした。また、問12「トップページのデザインについて」の設問に対して、1回目のアンケートでは7名が「見づらい」と回答しましたが、2回目のアンケートでは4名に減りました。2回目のリニューアルのコンセプトである「シンプル・イズ・ベスト！」が功を奏した結果となりました。

問20「ホームページについてご意見・ご感想・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。」の設問に対して、「便利ツールが新設されてありがたい」「便利ツールも心惹かれるものが多く、活用している」との意見をいただきました。1回目のアンケートを受け「共同実施Q&A」を廃止し、新たに導入したこの「便利ツール」は、まだまだ提供されているファイルも少ないですが、いいスタートが切れたのではないかと思います。

【課題】

問4「ホームページを見たことがありますか？」の設問に対して、3名の会員が「ない」と回答しています。その理由として「知らなかった」「見方が分からない」という意見をいただきました。確かに、会員全員が集まる場においてメーリングリストの登録方法、マナーを含めた利用方法については説明を行っていますが、ホームページについては特に説明は行っていません。今後検討したいと思います。

問16「MLに登録していますか？」の設問に対して、2名の会員が「していない」と回答しています。1回目のアンケートでは「していない」と回答した会員は5名だったので減ってはいるのですが、毎年呼びかけているにもかかわらず未だ登録100%には至っていません。メーリングリストは前述したとおり会員のコミュニケーションツールとして重宝されていますが、共同実施の導入等により近年は活性化しているとは言えない状況です。まずは登録100%にして、メーリングリストをより活用できればと思います。

3 今後の展望

それぞれ2回のリニューアルとアンケートを経て、あそびむNETは「いざというときに慌てないための事務処理要領」と「メーリングリスト」のそれまでの2本柱だけではなく、「フォトレポート」「便利ツール」の会員専用のコンテンツを加え、以前よりも会員に親しまれるホームページになったと自負しています。また、これは個人的なことですが

ホームページ班に入って本当によかったと思います。全てにおいて言えることなのでしょうが、誰かと協力して何かを作り上げるといことはとても気持ちの良いものです。ホームページ班としてのこの5年間は非常に楽しく充実した日々でした。なによりも、大きな達成感を得ることができました。今後のホームページ班に、阿蘇の若手に期待します。

最後に。

次の意味を込めて本レポートのタイトルを「3Q NET!あそ」としました。

【Quality : 良質、上質】 【Quest : 探求、追求】 【Quick : 早い、迅速な】

現在のあそじむNETはベターではあると思いますがベストであるとは思いません。これは時代によって、私たちを取り巻く環境によって大きく変わるものです。しかし、どのような時代や環境であれ、第一に考えなくてはならないことは「会員のニーズ」だと思います。会員はあそじむNETに何を期待しているのか、何を求めているのか、今何が必要なのか。そういった会員のニーズに対して、より質の高いものを追求し、迅速且つ正確に提供していくことが地区研が持つホームページサンキューの役割ではないかと考えます。

あそじむNETが39名の会員を繋ぎ、「3 Q!」と言ってもらえるものであるために、ホームページ班を中心に管理・運営していきたいと思います。また、この阿蘇の事務職員の繋がりが県内の事務職員、ひいては全国の事務職員へと広がって、学校事務職員が強い「絆」で結ばれることを願っています。